

学びを止めない オンライン 研修会

7月1日に実施した研修会には、150件を超える申込みをいただき、参加者としては少なくとも370名以上の方々にご視聴いただきました。ありがとうございました。

研修会后に、お寄せいただいた感想をまとめました。研修会の質疑応答の内容と、本校として回答が可能な質問について回答を添えて掲載しています。参考になさってください。

【感想】 ※お寄せいただいた文章をそのまま掲載しています。

とても参考になり、本校でも参考にしたい。

勉強になりました。オンライン授業のあり方を学ぶことができました。

どんなツールを使っているか知ることができてよかったです。

先進的で意欲的な試みだと思います。附属らしい発信だと思います。

勤務校では、どんなものがあるか、何ができるか、しっかり考えたいと思いました。ありがとうございました

とても分かりやすい実践発表でした。次回も校内研修として活用させていただきたいと思います。

ICTの活用について、知らないことがたくさんあり、以前は良さが見出せなかったのですが、ICTで学習をアウトプットすることができ、学んだことをどう表現するかに活用することで、学びを深めていくことに使える、ということを知りました。

テーマが深く、今後につながるとても有意義な研修でした。

教員の技術・能力の高さを感じました。

50分という限られた時間だからこそ、大事な要素が凝縮されて聞くことができたのでとても分かりやすかったです。話題もスライドも的確で素敵でした。また、質問もこのような形でできると、普段もいつでも遠方の方々の声を聞けて良いと思いました。

難しいと思わず、まずやってみることが大切だと思いました。

準備するもの等実際に考えるプロセスの見通しが持てました。ありがとうございました。

zoomでの研修は、出張に出掛ける手間が省け、参加のハードルが下がり良かったです。

コロナ禍でも児童の学びを止めないやり方を見せていただきありがとうございました。大変参考になりました。

臨時休校が続く中、オンラインでの課題等も考えましたが、学校での環境がしっかり整っていないといけないということに改めて感じました。プログラミングについては、私たち教員全員が学ぶことから始めなければいけないと感じました。大変な状況の中、貴重な時間をありがとうございました！

子供達と保護者の不安を解消しようという想いをとても感じました。大半勉強になりました。ありがとうございました。

とても良かったと思います。こうした取り組みは、附属小学校のブランディングにもとても良いですね。そしてこうしたことができるのは、皆さんの日々の取り組みの質の高さがあるからこそですね。時間的にもちょうどよいのかなと思いました。

プログラミング教育のとらえかたや具体的にどのように取り組んでいくべきか理解することができた。

オンライン授業に関しては、双方向的な取り組みをしていくべきであると感じました。オンラインでの取り組みを評価に繋げる方法もさらに考えていきたいです。

臨時休校中の取り組みが、とても参考になりました。

遠隔学習システムの利用ができることで、このコロナの休止期間でも学習を止めない取り組みができていたと感じました。この取り組みは現在問題となっている不登校の問題や学習の多様化にも対応できるのではないかと勝手に感じていました。

面白い試みを紹介していただき感謝します。

本日はありがとうございました。休校中の取り組みに関して、学校で使えるものを駆使してオンライン体制を作り上げていく姿勢に非常に驚きました。今後、コロナ以外でも子どもが学校に来れない状況が来たとしても、学びを止めることなく進めることが出来る素晴らしいものだと思いました。

オンラインでの学習についての事例が分かり参考になりました。

時期を得た貴重で意欲的な試みと評価します。

第二波に備えて、オンライン授業の利用価値が見出せた気がします。今後の参考にして、平常時の活用も視野に入れ検討していきたいです。

各学校で知りたい情報について、ニーズのある内容で貴重な研修会だったと思います。お疲れ様でした。

子供たちのために日々の業務に注力されておられる先生方に敬意を表します。ご発表を興味深く拝聴しました。8月4日も楽しみにしております。

本校では、先日 G suite for Education を採択しましたので、具体的な事例を紹介していただき、本当に有意義な時間となりました。GIGA スクール構想に伴い、仙台市でも採択したようなので、本校では、教職員の心のインフラとしてや、第2波に備えられるように、今回の研修を生かしていきたいと思います。本日はありがとうございました。

小学生の段階からプログラミング的思考を深めることは教科等の思考力・判断力の発展に大きく寄与するものだと感じた。しかし、大前提として子どもたちに知識を与えておくことがどうしても重要なのではないかと改めて感じた。

オンデマンドの授業だけでなく、オンラインで双方向の時間を設けることで子どもや保護者の満足度が向上することが分かりました。今回の研修会から、子ども同士や教員と顔を合わせて学校生活を送ることの重要性に気づくことができました。コンピュータサイエンスについては、私自身が、学生のときに関わった経験が少なく、イメージがつきにくいので、大学生のうちに沢山の経験ができるようにしたいと思いました。とくにプログラミング的思考について、その思考に至るにはどのような経験・体験が必要なのかを考えていきたいです。

実際に行っていることを聞くことができ、とても有意義な研修会でした。今いる位置で満足することなく、進化していくことを目指しているのだなと思いました。ありがとうございました。

2月から、どのような考えで、どのような実践をなされてきたのか、とてもよくわかりました。

第一部では、オンデマンドと、オンラインの住み分けと、それを実現したシステムが、とても短期間で、それぞれの特徴を活かし実践されたこと、児童や家庭への配慮も含めて、素晴らしいかと思いました。また第二部では、CSを通じて、教科の学び、学年の連続性などこれまでの取り組みの整理がとてもわかりやすかったです。プログラミングを取り入れることによって、見方がかわる、表現方法が変わる、新しい価値観につながる、とまとめられたことは、今まで明文化されてこなかったことかと思いますので、大変価値のあることを、サラッとおっしゃられたなと思いました。

「なければ作る 一緒につくる」という考え方は昔からある考え方だと思う。

教師が道具としてコンピュータを使いこなせれば教え方のはばも広がるし、より教師の意図をにそった指導につながると思った。教師の創造力は今も昔もとても大切なものであることを改めて感じた。

附属小学校で行われていた実際について知ることができて良かった。

第二波は来ると思っているのので、それに対する対応の仕方について学べてよかった。子供たちの学びを止めないために、学校でしっかりと考えて、備えていきたい。

Google のサービスを利用することで、こんなにもオンライン授業の環境を整えることができることに驚きました。Google アカウントの発行まで行い、環境整備に取り組みされており、このような取り組みがどこ学校でも行うことができれば、オンラインでも授業がよりスムーズに実施できるのではないかと思います。

動画配信での学習、Google クラブルームの活用、Google フォームによる授業の振り返りなど、本校の取り組みとつながる部分が多くありました。

①動画作成(授業づくり)のコンセプトを教員間で共有したこと。

②1つの授業に前半と後半の動画を作り、その間には、考えたり、調べたりしたことをノートに記入する時間を挟むなど、工夫がされていたこと。 がとても勉強になりました。

授業で附属小のこれまでのオンラインでの授業の様子を拝見して、とても興味をもっていたので、取り組みの詳細を伺うことが出来て大変勉強になりました。ありがとうございました。

休校中の学校の取り組みやその際に活用したアプリケーション等、詳しく話していただきありがとうございました。プログラミング教材の活用の仕方やプログラミングの内容の取り扱い等についてもよくわかりました。

今回は貴重なお時間をありがとうございました。コロナ渦での対応、プログラミング教育ともにどちらもこれからの学びに生かしていけると思います。本当にありがとうございました。

第二波に備えた家庭と連携した学習のあり方については、本校でも課題として考えているので、大変参考になりました。動画作成に関して、構成のポイントが示されていたが、具体的な指導言のようなものも教えていただけるとありがたいです。コンピュータサイエンスについては、確かに各教科から切り離したところで行った方がよいと感じました。ただ、教科ということですので、評価はどのように行うのか気になりました。資質・能力を評価するのだと思いますが、このことについても教えていただけたらありがたいです。

オンライン授業での方針や手段が具体的に提示されていて参考になりました。未曾有の自体でも普段通り担任のサポートや、学級単位での活動をするによって児童が安心して学習に取り組めるのだと理解することができました。プログラミング教育についても、プログラミング教育をする目的の設定がしっかりされていて、現代社会に適応したものになっていて為になりました。

まだまだ勤務校ではオンライン授業については進んでいない状況なので、参考になりました。
附属小学校さんの休業中の Google 各種サービスを使った取り組みや、「CS の時間」の取り組みについて学ぶことができました。本校に持ち帰り、参考にさせていただきます。本日はありがとうございました。
既存のアプリを活用した双方向のやりとりの仕方やプログラミング教育の実践を紹介していただきとても参考になりました。できるところから始めていきたいと思います。本日はありがとうございました。
ICT の活用、プログラミング教育について附属小の実践例をご紹介頂き、大変参考になりました。ありがとうございました。
今コロナ下の教育を問われており、考える機会が多い。一般校で学習の遅れや休学が続く中で、付属の学校では先生方の取り組みによりオンライン教育が進んでいるとお伺いしていた。本日詳しくお伺いでき、大変大きな学びとなった。生徒、保護者にとっても家庭で同時双方向的な学習ができ、安心できただろうと感じた。先生方も生徒にどのように届くかを試行錯誤し、改善され生徒の振り返りを大事にする。そういった手厚いサポートと努力がとても感じられた。プログラミング教育に関しても、子供達の思考や学習に驚き、まず私たちも実践しどんどん新しい技術を吸収し実践してみなければと感じた。この度は誠にありがとうございました。
コロナ対応でお忙しい中、直前に行った具体的な実践事例でとても勉強になりました。ありがとうございました。
貴重な研修の機会を設けていただきありがとうございました。Google の活用、オンデマンドの授業、双方向の HR 等さまざまな取り組み等、大変勉強になりました。特に1時間あたり短い動画2つ、その間の自力解決というスタイルは大変参考になりました。ありがとうございました。
発表の時間設定(途中休憩を含む)が適切だった、と感じました。発表している方の話すスピード・音量もちょうど良かったです。
私も大学院でオンライン授業を経験し、人と人の触れ合いの意義を感じるとともに、オンラインという手段であっても学ぶ機会を保障することは大切だなと感じていたところです。 「普段と変わらない授業」を提供しようという目標の高さや授業作りや児童の現状を教えていただき、困難な状況の中でも学びを提供するための一方法を知ることができました。大変貴重な機会をいただき感謝致します。 ありがとうございました。
本日は、ありがとうございました。前半では、オンデマンドとオンラインの組み合わせにより子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を諦めない先生方の実践が印象に残りました。後半では、自分が苦手としているプログラミングの授業の重要性を知るとともに、子どもたちが社会とつながり、社会を創る主体になっていくことに、感激しました。
教育現場の実態がよく分かり、ためになりました。今後の学習の参考にしていきたいと思います。また、今後教員に求められるプログラミングや情報機器の操作に関する資質・能力を今のうちに身につけておく必要性を痛感しました。本日は貴重なお話をありがとうございました。
同じ仙台市にありながら、市内の公立学校の ICT 教育は遅れていると率直に感じました。今後タブレットの配付があっても、貴校のような「学びを止めない」指導を仙台市は行っていけるのであろうかと不安になりました。教職大学院生という立場を利用させていただき、現場において問題提起ができたり、便利な方法等を学ばせていただき、職場に還元できればと思います。情報提供いただき、ありがとうございました。8 月の奈須先生の講演も大変楽しみです。ぜひとも参加したいと思います。
とても勉強になるお話ありがとうございました。第一部では、オンデマンドであるが一方向的ではない授業システム、遠隔的・双方向的授業システムについて説明していただき、普段の授業と変わらない主体的対話的学びを目指している現場の先生方の努力が感じられ、自分も見習おうと思いました。第二部の、必要だけどもものは(協力して)作ればいいんだという価値観は、開発者の立場に立つからこそ育成できるものであると改めて考えさせられました。
14 分遅れて、途中参加となりました。第二部の上杉先生の話ですが、色々な取組が模索されている中、学年に応じてビスクットやマイクロビット・スクラッチを使い分けて授業実践されている状況が良く分かりました。 また、参加なされていらっしゃる方々が、仙台市や大崎市など、Zoom が禁止されているところからの参加者が多かった(しかも職場からつないでいらっしゃる)ので、驚きを持っています。特に、仙台市は、GIGA スクール構想にもかかわらず、カメラ付きではないPCを(予算がないからという理由で)支給していると伺っており、5 年後のための教育予算を 5 年落ちのPC購入に充てていると残念に思っていただけに、新鮮でした。
具体的なアプリケーションの使い方をことができ、有益でした。
プログラミング教育を通して身に着けさせたい力や価値観がとても興味深く、これから生きていく児童にとって必ずプラスになっていくだろうと感じました。とても勉強になりました。貴重なお話をありがとうございました。
どちらの内容も大変興味深く、勉強になりました。ありがとうございました。
短時間で、附属小の実践を知る事が出来た。

全学年や全校のクラスルームやウェブサイト等を作成したり、YouTube 上で動画配信したりとコロナ禍で従来の形に近づけた授業を行っておりとても驚きました。1 年生でのオンライン授業は難しいと思っていましたが、スタートアップカリキュラムなど色々な取り組みをしており、参考になりました。本日はありがとうございました。

コロナでの児童生徒の自粛期間の際、世の中ではオンデマンドでの授業であったり、双方向での学びを実践しているというニュースが流れていましたが、私自身がそのやり方を分かっておらず、今後同じようなことがあった際に、だれかの指示がなければまったく動けないという状態でした。本日の話を聞いて、私自身もやり方を身に付けていきたいと思いました。オンデマンドでの授業作成を本校で行おうとする際は、学年 1 担任のみなので、なかなか毎日の配信は厳しいかな と思いました。グーグルクラスルームは、教職大学院でも使っていますが、これが本日の話であったように各学校でも活用できるようでしたら、第二波が来ても大学院の学びと同様のことができるのでとても良いと感じました。オンラインだと、移動の時間も無いので、多くの方が気軽に参加して学べるので、特に気仙沼等遠方の学校の先生方は良いと思いました。最後の最後になぜか、zoom が突然切れてしまい、海外の学校の先生の質問に対する附属小の先生方のお話から先を聞くことができませんでした。ですが、とても貴重な時間となりました。本当にありがとうございました。

コロナをきっかけに教育をはじめとした人の暮らしとテクノロジーの親和性は急速に高まっていくと思います。入院している生徒などの平等な学びの機会の確保などにも有効なので、幅広い活用をご検討いただければと思います。最新のテクノロジーにアンテナを張っていただき、教育の質を高める不断の取り組みをお願いいたします。

動画配信だけでなく、オンラインや分散登校で振り返りの集約をし、一人一人の状況に合わせて対応することが、子どもの学びを深くするのだと思いました。大変貴重なお話をありがとうございました。

休校期間中、早い段階からオンライン授業を実践されていたことが素晴らしいと感じました。

附属小の先生方、すごいなあと率直に感じました。質疑応答のお時間があり、他の学校の先生方の関心のポイントが知れて、とても良かったです。本学の学生さんが熱心に視聴している様子も見られて、非常に参考になりました。オンライン研修会、ウェビナー形式よりも、今後も今回の様な、参加者の顔が見られる形式が続くと良いなと思いました。オンライン研修会だと、対面の研修会よりも学生さんが現職の先生方に混じって参加しやすいのではないかと感じました。

重要な要素がコンパクトにまとめられていて、とても勉強になりました。動画の実例も紹介されていて、分かりやすかったです。学生の参加もお認め下さり、ありがとうございました。

オンライン授業の取り組みや CS の取り組みなどの実際を知ることができ、これから来るであろう第2波に向けて、本校で何ができるか考える良い機会となりました。

本日は学生でありながら、参加させていただきありがとうございました。遠隔授業を行なうなかで、ただ動画を送り課題を出すのではなく、普段と変わらない授業行うというのは凄いと感じました。また、学年や家庭の状況に応じ学習の内容を変え、工夫していたことも、素晴らしいと感じました。まだまだ自分ではそこまで考えることが出来なかったので、とても勉強になりました。ありがとうございました。

大変勉強になりました。子どもたちの学びを止めないための先生方の熱意を感じます。また、三浦先生上杉先生共にちょうど良いテンポで喋っていただいたので聴きやすかったです。最後までしつこく残ってしまい、すみませんでした。ありがとうございました。

今の世の中で子どもたちの学びをどうサポートしているのか気になっていたもので、具体的に教えていただけて嬉しかったです。

本日の研修会では、動画配信による授業の良さや可能性を認識することができました。特に授業一単位時間の中に自力解決の時間を設けることで、ただの受け身の授業ではなく一人でも主体的・対話的な学びができるような工夫がされていて、普段の教室での学びと変わらない学習ができるのだと感じました。また CS の時間ではプログラミングのスキルだけでなく、自ら新たな発見をし、共に学び共につくるといった協同の精神も育める授業であるということも学ばせて頂きました。本日は貴重なお話を聞かせて頂きありがとうございました。

Google サービスを活用したオンライン学習の運営について参考になりました。

職員の意識向上につながり、本校でのオンライン授業への第一歩となりました。ご指導ありがとうございました。

オンラインでの研修機会を増やしていきたいものです。

プログラミングに関する実践や利点について数多くを学ばせていただきました。

宮城教育大学附属特別支援学校です。貴重な研修の機会をありがとうございました。附属校園連携の視点から、上杉で行われている取組を知ることができる良い機会となりました。

私も大学院でオンライン授業を経験し、人と人の触れ合いの意義を感じるとともに、オンラインという手段であっても学ぶ機会を保障することは大切だなと感じていたところです。

「普段と変わらない授業」を提供しようという目標の高さや授業作りや児童の現状を教えてください、困難な状況の中でも学びを提供するための一方法を知ることができました。大変貴重な機会をいただき感謝致します。ありがとうございました。

本日はありがとうございました。「学びを止めない」ために、本日学んだことを生かして、本校でも取り組んでいきたいと思えます。

本校も、5月中は登校日(授業日)での対面授業と「学習計画表」等を作成しての計画性を持った家庭学習と併用しながら進めてきました。特に、児童一人一人が、週単位の中で意欲的、計画的に学習ができるよう、自学自習の力も育てながら指導にあたり、新学習指導要領がめざす3つの資質・能力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」を可能な限りバランス良く育むように配慮しました。今後、第二波に備えて環境整備を進め、貴校のようにオンデマンドとオンラインの授業を効果的に活用していきたいと思えます。貴重な情報をご提供いただきありがとうございました。

とても勉強になりました。

子どもたちにどの様にオンラインを行ったかが分かりました。附属小の先生方が子どもたちの姿を考えているのが分かります。また、我々教員の研修活動としてもオンラインの可能性を感じました。なかなか公開研究会もできないので、活用を考えて頂けるのが有難いです。本日はありがとうございました。

新しいことにチャレンジする際、できることから、使えるものから、少しずつ実践していく、という心持ちが、周りを説得する際、大切だと思った。端末の支援が必要なご家庭が30程度だったのも驚いた。プログラミングが全くわからないので、将来教員を目指す際不安であったが、日常生活でこんなにも身近に活かされている、という視点を忘れずに、協働で創り出していく喜びを教えられる授業ができるようになりたいと思った。ありがとうございました。

今回は貴重なお時間をありがとうございました。コロナ禍での対応、プログラミング教育ともどちらもこれからの学びに生かしていけると思えます。本当にありがとうございました。

どちらの内容も大変興味深く、勉強になりました。ありがとうございました。

ICTの活用について、知らないことがたくさんあり、以前は良さが見出せなかったのですが、ICTで学習をアウトプットすることができ、学んだことをどう表現するかに活用することで、学びを深めていくことに使える、ということ学びました。

zoomを使ってのオンライン研修会、移動時間も費用もなく参加できるので、これからの時代、オンライン研修会が増えるといいと思った。

全学年や全校のクラスルームやウェブサイト等を作成したり、YouTube上で動画配信したりとコロナ禍で従来の形に近づけた授業を行っておりとても驚きました。1年生でのオンライン授業は難しいと思っていましたが、スタートアップカリキュラムなど色々な取り組みをされており、参考になりました。本日はありがとうございました。

面白い試みを紹介していただき感謝します。

無いものは作るという話が、共感できました。

研修会を開催していただきありがとうございます。Zoomの研修会の可能性を感じることができました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

It was very helpful.

休校中の実践を伺い、第二波に備える必要性を強く感じました。実際に配信する授業動画の作り方(動画配信による授業の実施 フローチャートの部分)の部分を詳しく知りたい学びたいと思えました。大変刺激を受けました。ありがとうございました。

【質問】 ※お寄せいただいた文章を抜粋・意識しています。

CSを含めて、資質・能力によるカリキュラム編成をどのように進めているのか。

学校教育目標を「問題解決力」「表現力」などの五つの資質・能力で具体化し、各教科等の研究とともに共同研究の中でカリキュラム編成に取り組んでいます。CSは今年度からの教科化ということもあり、公開研究会等で今後体系化したものを示せるように研究を進めていきます。

コロナ禍の中で、全校的な休校ではなくとも学年・学級閉鎖が発生した場合、どのような対応が考えられるか。

オンラインによる同時双方向(Google meetの活用など)の仕組みを生かすことで、学年・学級閉鎖の発生や、学級内での分散登校が必要となった場合でも、子供同士の関係づくりとともに学びを保障することができると思っています。(例)分散登校時、登校している児童と家庭にいる児童をオンラインでつなぎ、活動を行う

通常時において、オンラインサービスを利用した教育活動をどのように取り入れることができるか。

休校期間中に有効であったオンラインによる教育活動は、通常時でも効果的に取り入れることが可能だと思われます。学習資料の配信や児童の考えの集約等、デジタルな方法で簡便に効率よくできることがあります。本校では取組を分析し、有効な導入方法を教員間で模索しているところです。

休校期間中の動画配信による授業の中で、学習支援が必要な児童はいたのか。

通常時と同様に、学習支援が必要な児童には担任によるサポートを行いました。登校日による直接的なものや、電話等による遠隔的なものです。また、授業による取組が十分ではない児童には、学校再開後の授業の中でも補充的な指導を行っています。

Googleの様々なフォームをどのように担任の先生方に共有したのか。(一から全て担任だけに任せて作らせたわけではないかと思うのですが)また、meetを使った学校の回線は、全校一気に使ってもパンクしなかったのか。

Googleフォームを利用し、形式が全校でおおよそ同一となるように研究主任が原本を作成して共有しました。使用方法や集約一覧の確認の仕方を学級担任に伝え、その後は学級担任が運用できるようになりました。

デジタルを利用した授業と目の前に子供がいる状態での授業で比べて感じたこと、また普段の身体の交流を通じた教育の意義について、どのように考えているか。

学校再開後、どの教員も「対面して学ぶ意義」を実感しています。教員と子供が同じ空間で同じ時間を共有する中で、対話を通して学ぶことが大切だということです。児童のアンケートからも、同様の反応が見られています。

教科等の知識の定着が進んでいない児童・生徒に対して、対面での指導が不可能な状況の中どのような対応ができるのか。

今回の臨時休校期間中は、動画配信による授業と分散登校を組み合わせることで、児童へのサポートが実現しました。対面での指導(分散登校も含めて)が全くできない状況では、家庭の協力をいただきながら、電話やメール等で遠隔的にサポートするしかなかったのかもしれませんが、ただし、Google meetを活用して同時双方向のやり取りができれば、オンラインで子供と対面して支援することができます。“第2波”で本校はそこを目指します。

Googleアカウントの発行(G Suite for Education)は、公立学校でも可能だと思うか。

各教育委員会等の指示の下で実現できることかもしれませんが、奈良県では県内のすべての国公立学校で実施しているという事例もあります。

もし、ネット環境が整っていない家庭があった場合はどのような対応を取る予定だったのか。

研修会の中でお伝えしましたが、今回は動画を保存したDVDを貸し出して対応しました。

勤務の関係で見逃した職員から、今回の動画が配信されないかという要望があった。

YouTubeでの限定公開を実施します。URLを参加者にメールでお知らせしますので、御活用ください。

機器操作が一人では難しい子供には、どのようなサポートをしたか。

通常時から普段の授業を通して、タブレット端末の操作に慣れ親しませていたことが有効に働いたようです。具体的なサポートについては、電話等での家庭からの問合せに対応はしましたが、大きくは家庭での働き掛けによるものです。研修会でもお伝えした通り、家庭の協力で支えられています。

主催者として感じたことは「オンラインによる研修会の可能性が広がった」ということです。先が見通せない状況下ではありますが、できることを見付けて、使えるものを駆使して、ちょっとは努力しながら、校外の皆様にも有益な情報を今後もお伝えしたいと考えています。またどうぞ御参加ください。



【配信チームも学ばせていただきました】